

## 就任のご挨拶

関東経済産業局 資源エネルギー環境部  
石油課長 富岡 信行

平成18年4月1日付けで関東経済産業局に復帰し、石油課長に就きました富岡信行です。

石油課には当組織がまだ関東通商産業局鉱山部時代でしたが、昭和60年4月から昭和62年9月まで在籍し揮発油販売業係長を勤めていました。ですから、19年ぶりに資源エネルギー行政に携わることになります。当時は自分の業務が精一杯で、LPガス行政にはほとんど関心がなかったので、まず身近なところからLPガスについて考えてみることにします。

私の出身の田舎にもLPガスが入っていて、最初は確か5kg程度の小ぶりのガスボンベだったのが、最近では人の背丈もありそうなボンベがそれも2本入っているのを目にします。LPガスが都市部はもとより山間部等日本全国津々浦々まで供給され、為に私どもの日常生活が格段に便利になったことをつくづく感じます。

このようなLPガスも問題がないわけではなく、私どもが受け持っている取引の適正化の面では顧客切替競争に起因する「供給設備の無断撤去問題」がまだあると聞いています。ひところよりもかなり減ったようですが、他人の所有物を無断で取り去ることがあること自体、一般社会では信じ難いことです。

このような問題を是正するため、ご案内のとおり平成13年7月に「無断撤去の禁止」規定や「原則一週間ルール」が整備されたわけですが、私どもは、研修会等を通じこれらをはじめとする取引の適正化ルールの周知徹底を行っています。会員の皆様には、前述のLPガスの果たしてきた役割を一層強固とするためにも、ルールを厳守し、公正な競争を展開し、他のエネルギー源に負けない、LPガス業界として健全に発展して行かれますことを祈念して、就任の挨拶とさせていただきます。